



2022年11月10日

各 位

会社名 アンジェス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山田 英
(コード：4563 東証グロース)
問合せ先 広報・IRグループ
<https://www.anges.co.jp/contact/>

株式会社安評センターとの共同研究開発契約締結に関するお知らせ

当社は、2022年11月10日付で、以下のとおり、株式会社安評センター（代表取締役 福永健司、本社：静岡県磐田市、以下、「安評センター」という）と、薬剤スクリーニングを目的としたトランスジェニックゼブラフィッシュ※（以下、「TGZF」という）モデルに関する共同研究開発契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本件は、東京証券取引所の定める適時開示には該当いたしません。当社が有用な情報であると判断したため、任意開示いたします。

1. 共同研究開発の理由

本共同研究開発は、安評センターのTGZFモデル開発において、当社の開発品を投与したTGZFモデルにおける反応の評価及び有用性の検証への助言をとおして、TGZFモデルの構築、評価方法の確立に協力するというものです。

当社は当該TGZFモデルの開発過程に関与することで、取得されるデータを開発品の研究開発に反映させてまいります。

安評センターはTGZFを用いた創薬支援サービス体制構築を目的とする技術開発や動物モデルを作製しており、今後、当該TGZFモデルの完成の後に、当該TGZFモデルを用いた創薬スクリーニングサービスを広く展開する予定で、当社の医薬品開発技術の向上と合わせて、両社の企業価値の更なる向上を目指してまいります。

2. 共同開発の内容

当社は開発中のNF- κ BデコイオリゴDNA等炎症に関連する薬剤を提供し、TGZFモデルの有用性検証を行います。

安評センターは炎症性刺激によるGFP発現及び薬剤に対する反応性の確認が可能なTGZFモデルを作製し、当社の開発品である薬剤を投与しTGZFモデルの製品化を目指します。

3. 共同研究の相手先（株式会社安評センター）の概要

| | |
|---------------|--|
| (1) 名 称 | 株式会社安評センター |
| (2) 所 在 地 | 静岡県磐田市塩新田 582 番地 2 |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 福永健司 |
| (4) 事 業 内 容 | 医薬、農薬を主に化学物質の安全性に関する試験研究受託 遺伝子改変マウスの作製受託、モデルマウスの販売や作製モデルマウスを用いた非臨床試験の受託 |
| (5) 資 本 金 | 100 百万円 |

安評センターは、設立来 40 年間に蓄積された実績、信頼を背景に、充実した GLP (Good Laboratory Practice : 優良試験所基準) 及び AAALAC (国際実験動物ケア評価認証協会) 認証施設での高い科学性と信頼性に立脚した医薬品、食品、食品添加物、農薬、飼料添加物、一般工業化学物質等の化学物質の安全性試験のデータを提供、遺伝子破壊マウス作製受託、遺伝子改変マウスを用いた安全性試験受託を展開し、当社グループの創薬支援事業の中核を担っております。また、安評センターは国内では数少ない水生動物を用いた農薬の登録申請に必要な環境毒性試験が実施可能な施設、研究員を有しており、高い受託実績を有しております。

4. 今後の見通し

本共同研究開発による 2022 年 12 月期の連結業績に与える影響は軽微です。今後開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

※ゼブラフィッシュ

ゼブラフィッシュは、ヒトとの間の疾患ゲノム類似性が約 80% などの特徴があり、ヒトへの外挿性が高く、スクリーニングが簡便なこともあり需要が高まっています。

以 上